

「みなし仮設・在宅避難者」への支援を考える

NPO 法人東松島まちづくり応援団

理 事 木村 正樹

(東松島復興協議会 代表)

1 東松島市の被災状況から

家屋被害（地震被害・浸水被害）

浸水地域（市街地の65%）

2 「みなし仮設・在宅避難者」への支援

みなし仮設の課題・・・公的機関での支援

個人情報も取り扱い

情報伝達の難しさ

在宅避難者の課題・・・民間主体での支援

浸水被害・・・範囲の特定が困難

居住状況の確認が困難・・・時間と共に変化している

3 継続的支援のありかた

東松島市の人口の推移

H23年3月1日 42,840人

H24年1月1日 40,365人（▲2,475）

内訳	自然減	1,400	自然増	268	（▲1,132）
----	-----	-------	-----	-----	----------

	社会減	3,075	社会増	1,732	（▲1,343）
--	-----	-------	-----	-------	----------

将来人口予測 平成32年 40,960人（▲595人：H24比較）

すべての被災者に 支援の手を

東松島復興協議会

昨年9月、市内で活動するボランティア団体の情報共有化などを目的に「東松島復興協議会」(木村正樹代表)が設立されました。矢本のあったかいホールに事務局を置き、26団体が加盟しています(1月13日現在)。本市の復興を支えようと様々な特色を持つ団体が連携し、在宅の被災者へも支援の手を伸ばしています。協議会とボランティアの皆さんのこれまでの活動の様子を紹介します。



復興協議会会議



研修会



ランチ交流会



ホットカーペット配布

ボランティア団体が連携

東松島復興協議会が設立された

震災後、初めての冬を迎えた東松島市。同協議会では被災者の冬対策として、住居の1階部分が浸水被害を受けた在宅の被災世帯を対象に、ホットカーペットなどの暖房器具を配布しました。12月22日、赤井大曲地区などを中心に届けた総数は約3500世帯。協議会に加盟するNPOハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンなどが物資を提供しました。会場となった地域の集会所では、こうした物資の提供は少なかつたので、とてもありがたかったと感謝の声を寄せられていました。

これまで在宅の被災者に対する支援活動は少なく、応急仮設住宅と比べるとその差は大きいのが現状でした。しかし、協議会の設立により、これまで支援が行き届かなかった在宅被災者に、対しても、可能な限りの支援活動を展開することが可能になりました。自由な活動ができるという民間団体の強みを発揮し、問題に柔軟に対応していきます。

被災者への支援活動

震災から10カ月が経過したいま、同じ浸水区域内でも住民が置かれている状況はさまざま。協議会ではアンケート調査なども実施していますが、各世帯の個別の状況を完全には把握しきれないのが現状だと



避難路づくり

木村代表は語ります。

その中でもこれから重要なのが、これまでであった地域コミュニティの維持・再構築。木村代表は、「地域の人が危機意識を持って地域に目を配り、さまざまな得意分野を持つボランティアと一緒に活動できるようにすれば、より適切な支援を届けることができます」と考えています。

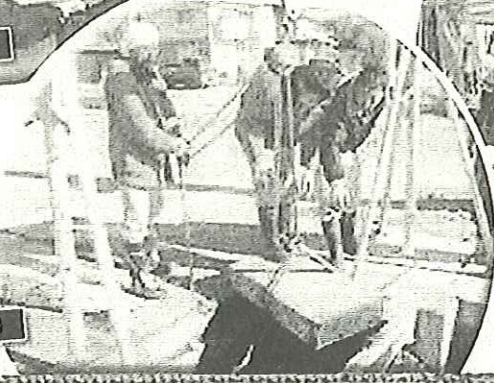
同協議会では、行政や被災者サポートセンター、各市民センターなど関係機関との協力体制を整え、地域住民とボランティアがともに問題解決を図る仕組みづくりを目指します。さらに、在宅被災者の心のケアや生活

再建の基盤となる職業支援、観光産業支援などにも力を入れ、地域の復興をしっかりと後押ししていきます。

やっべし! 根古仮設



こたつ布団配布



側溝清掃



側溝清掃

復興協議会参加26団体 (1月13日現在)

NPO法人アジア日本相互交流センター(アイキャン)、大田区被災地支援ボランティア調整センター、くれ災害ボランティアセンター(チームひろしま)、公立大学法人宮城大学地域連携センター、災害復興支援コーディネーター連発、サポートチームG、NPO法人CFF、NPO法人ジャパン・プラットフォーム、NPO法人東松島まちづくり応援団、JR東労組仙台地方本部、東松島市生活復興支援センター、日本ナザレン教団国際援助委員会、まちづくりNPOげんき宮城研究所、復興支援団体plus NEO、独立行政法人国際協力機構東北支部(JICA)、児童養護施設支援の会、学生による地域支援活動団体みまもり隊、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、教育を考える親たちの会、ルーテル教会救援、市民ネットワークやっぺし!東北、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクトPCAT、NPO法人LEAF26、ふんばろう東日本支援プロジェクト、NPO法人ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン、みやぎ生活協同組合

■問 東松島復興協議会事務局(あったかいホール内) ☎98-6061
担当:NPO法人東松島まちづくり応援団

延べ4,400人が東松島市で活動

大田区被災地支援ボランティア調整センター 事務局 小野 紀之さん

小野 紀之さん

東京都大田区では震災直後の物資支援にはじまり、すぐに区民に対して東松島市での作業ボランティアの募集をし、4月から活動に取り組みました。被災直後の家屋内外の泥出し、がれきの片付けなど市と連携しながら作業に従事しました。6月から東名地区を担当、8月から地域のコミュニティづくりの応援活動として月1回のランチ交流会を実施中です。

今年1月13日まで72回のボランティアバスを運行させ、延べ約4,400名が活動しました。東松島のみなさんの笑顔と「ありがとうございます」の一言は何物にも代えがたいものでした。

復旧のための作業も山

場を越え、これからは地域の方々を中心とした復興事業や地域コミュニティの再生活動をお手伝いさせていただく予定です。さらに東松島市を訪れることで観光や物産の振興支援になるようなツアーの企画、実施も検討しています。



心のつながり、自分の生きた証に

復興支援ボランティア団体 plus NEO 代表 中村 健司さん

中学3年の時、阪神淡路大震災が発生。ヒッチハイクで現地に入り、初めてボランティア活動をしました。自分の中には神戸で見たあの時の風景が強く残っており、今回大変な事が起きたと直感しました。多くのものを失った被災地の方のために、でき



る限りの支援を続けていこうと決めました。

現在は支援の手が届きにくい小規模の仮設住宅や在宅の被災者生活支援のお手伝いをさせていただいています。地元の方から、クリスマスプレゼントに「どんぶく」をもらった時は、最高にうれしかったですね。今の活動は、人生をより豊かなものにするチャンス。東松島市の皆さんと培った心のつながりは、きっと僕の生きた証になると信じています。

被災した地域に店が並ぶようになれば、それが復興の合図。今後は青空市など、地域が元気を取り戻す事業を考えていきたいです。

感謝の声

地域住民が力を発揮し住みよいまちに

地域のほとんどの世帯が床上浸水し、大規模半壊の判定を受けましたが、私たち在宅被災者への支援の手は決して手厚いものとはいえませんでした。

そんな中、先日、東松島復興協議会から冬対策として電気毛布などをいただくことができました。支援を必要とする人は多くいますから、本当にありがたいことです。近所の方から情報をいただき、こちらから問い合わせ、私たち住民が物資の配布にも協力しました。

震災から10カ月が経ち、そろそろ地域に住む私たちが力を発揮す

る時期にきたのではないのでしょうか。住みよいまちのためにできる限り協力していく考えです。声を掛けると地域の若い世代の方も積極的に行事に協力してくれ、うれしい限り。「この地域は大丈夫」と心強く感じています。



柳北區在住 毘野 英津子さん

東松島復興協議会代表(東松島まちづくり応援団理事)

木村 正樹さん

復興を支える地元の人材を育てることが最終目標

東松島復興協議会は、市内でボランティア活動に取り組む団体の情報共有の場として昨年9月に設立されました。市や被災者サポートセンターなど関係機関との連絡調整もスムーズに行えるほか、ひとつの地域に支援が偏るといった地域間の格差がないよう調整も図れるようになりました。

現在は、公的な支援が行き届いていない在宅被災者のケアに取り組んでいます。昨年12月には冬対策としてプロジェクトを組み、在宅の被災者へホットカーペットや

電気毛布などの暖房機器を届けました。事前に行ったアンケート調査では、多くの人が有効な冬対策として暖房機器を挙げていました。こころのケアも今後の重要な課題であると分析しています。

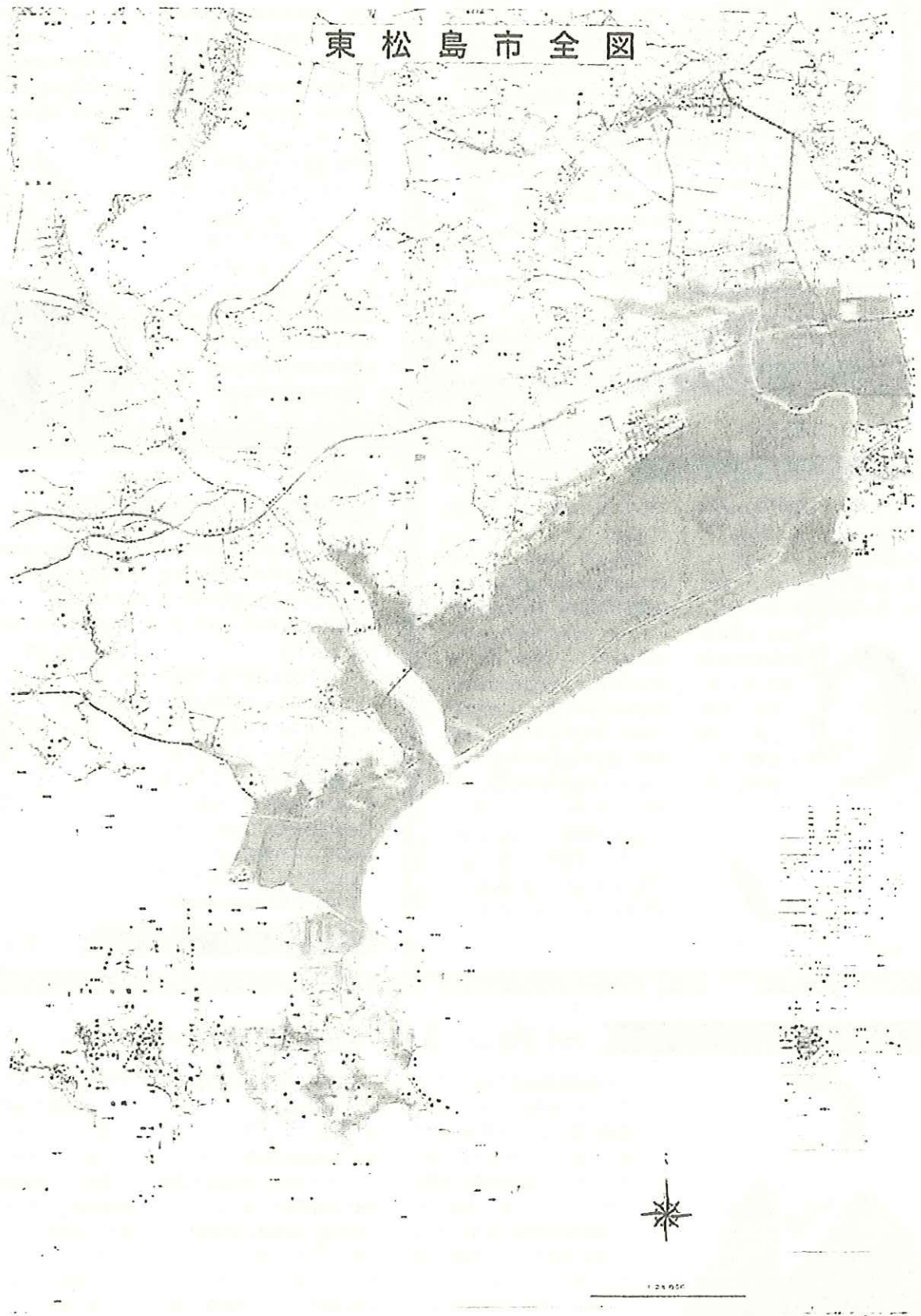
昨年末、東北漁業再開支援基金・希望の烽火から宮戸地区にコンテナ5台が寄贈されました。漁具や魚網の保管など、海での仕事を再開させるために欠かせないものです。同地区は東松島体験ネットワークが活動再開に向けて動き出すなど観光産業も活発化していま

すから、さらに人を呼び込む仕掛けなど、地域全体が潤うような振興策をボランティアと一緒に考えていきたいですね。

支援してくれるボランティアの存在は大きなのですが、まちの復興に自覚がつけばいつかは引き揚げていってしまいます。復興を果たす最後の日まで、地域の復興のために力を尽くせる地元の人材を育てることが最終目標。地域のために何かしたいという思いがある人は、積極的に活動に参加してほしいと願っています。



東松島市全図



東松島市これまでの20年とこれからの20年

	平成2年	平成12年	平成22年	平成32年	平成42年
計	43,180	43,127	42,778 ▲0.9%	40,960	38,076 ▲11.0%
0～14歳	7,000 16.2%	6,995 16.2%	6,119 14.3% ▲12.5%	5,087 12.4%	4,324 11.3% ▲29.3%
15～64歳(A) (生産人口)	28,504 66.0%	28,458 66.0%	26,887 62.8% ▲5.7%	23,803 58.1%	21,740 57.1% ▲19.1%
65～(B) 高齢者率	7,676 17.8%	7,674 17.8%	9,772 22.8% +27.3%	12,070 29.5%	12,012 31.5% +22.9%
A÷B	3.7人	3.7人	2.7人	1.9人	1.8人
75歳～	3,156	3,154 +0.06%	4,753 +50.7%	5,929 +24.7%	7,366 +24.2%

市町村別推計人口増減数内訳
〔平成23年(2011)3月1日～平成24年(2012)1月1日〕

(単位:人)

区分	総人口(H24.1.1)			総人口(H23.3.1)			人口増減 合計 A(B+C)	計 B(a-b)	自然増減		社会増減		
	総数	男	女	総数	男	女			出生 a	死亡 b	計 C(c-d)	転入 c	転出 d
仙 台 市	1,052,476	511,273	541,203	1,046,737	508,130	538,607	5,739	▲ 57	7,383	7,440	5,796	70,126	64,330
(青葉区)	296,006	142,744	153,262	291,994	140,637	151,357	4,012	▲ 151	1,785	1,936	4,163	22,388	18,225
(宮城野区)	189,225	92,988	96,237	190,806	93,676	97,130	▲ 1,581	153	1,663	1,510	▲ 1,734	13,010	14,744
(若林区)	131,414	64,772	66,642	132,159	65,140	67,019	▲ 745	▲ 256	947	1,203	▲ 489	8,830	9,319
(太白区)	222,883	108,243	114,640	220,380	107,083	113,297	2,503	▲ 27	1,561	1,588	2,530	13,846	11,316
(泉区)	212,948	102,526	110,422	211,398	101,594	109,804	1,550	224	1,427	1,203	1,326	12,052	10,726
石 巻 市	150,177	72,359	77,818	160,394	76,940	83,454	▲ 10,217	▲ 4,565	825	5,390	▲ 5,652	3,321	8,973
塩 竈 市	55,674	26,427	29,247	56,221	26,714	29,507	▲ 547	▲ 333	267	600	▲ 214	1,962	2,176
気仙沼市	68,875	33,080	35,795	73,154	35,076	38,078	▲ 4,279	▲ 1,711	327	2,038	▲ 2,568	1,154	3,722
白 石 市	36,872	17,846	19,026	37,273	18,095	19,178	▲ 401	▲ 271	183	454	▲ 130	832	962
名 取 市	72,140	35,194	36,946	73,603	35,815	37,788	▲ 1,463	▲ 851	534	1,385	▲ 612	3,433	4,045
角 田 市	31,154	15,213	15,941	31,188	15,250	15,938	▲ 34	▲ 171	186	357	137	999	862
多賀城市	61,576	30,823	30,753	62,990	31,528	31,462	▲ 1,414	▲ 23	492	515	▲ 1,391	3,513	4,904
岩 沼 市	43,738	21,450	22,288	44,160	21,707	22,453	▲ 422	▲ 114	316	430	▲ 308	1,880	2,188
登 米 市	83,666	40,308	43,358	83,691	40,308	43,383	▲ 25	▲ 561	471	1,032	536	2,312	1,776
栗 原 市	73,780	35,461	38,319	74,474	35,748	38,726	▲ 694	▲ 544	394	938	▲ 150	1,491	1,641
東松島市	40,365	19,657	20,708	42,840	20,828	22,012	▲ 2,475	▲ 1,132	268	1,400	▲ 1,343	1,732	3,075
大 崎 市	135,214	65,687	69,527	134,950	65,541	69,409	264	▲ 428	919	1,347	692	4,422	3,730
蔵 王 町	12,763	6,190	6,573	12,847	6,220	6,627	▲ 84	▲ 64	71	135	▲ 20	344	364
七ヶ宿町	1,619	800	819	1,664	817	847	▲ 45	▲ 26	5	31	▲ 19	53	72
大河原町	23,686	11,585	12,101	23,465	11,475	11,990	221	▲ 51	148	199	272	1,143	871
村 田 町	11,853	5,865	5,988	11,939	5,892	6,047	▲ 86	▲ 41	74	115	▲ 45	290	335
柴 田 町	39,403	19,669	19,734	39,243	19,614	19,629	160	▲ 81	251	332	241	1,811	1,570
川 崎 町	9,755	4,735	5,020	9,919	4,804	5,115	▲ 164	▲ 98	41	139	▲ 66	195	261
丸 森 町	15,121	7,365	7,756	15,362	7,498	7,864	▲ 241	▲ 150	55	205	▲ 91	294	385
亘 理 町	33,482	16,216	17,266	34,795	16,832	17,963	▲ 1,313	▲ 413	193	606	▲ 900	984	1,834
山 元 町	14,358	6,980	7,378	16,608	8,038	8,570	▲ 2,250	▲ 766	58	824	▲ 1,484	381	1,865
松 島 町	14,964	7,146	7,818	15,014	7,177	7,837	▲ 50	▲ 128	70	193	78	627	549
七ヶ浜町	19,766	9,742	10,024	20,353	10,021	10,332	▲ 587	▲ 192	87	279	▲ 395	561	956
利 府 町	34,768	16,843	17,925	34,279	16,582	17,697	489	73	255	182	416	1,666	1,250
大 和 町	26,070	13,158	12,912	25,366	12,798	12,568	704	46	244	198	658	1,652	994
大 郷 町	8,767	4,263	4,504	8,871	4,313	4,558	▲ 104	▲ 58	50	108	▲ 46	211	257
富 谷 町	48,455	23,591	24,864	47,501	23,107	24,394	954	189	369	180	765	2,335	1,570
大 衡 村	5,444	2,711	2,733	5,361	2,674	2,687	83	▲ 43	31	74	126	252	126
色 麻 町	7,376	3,539	3,837	7,406	3,562	3,844	▲ 30	▲ 34	47	81	4	140	136
加 美 町	25,276	12,275	13,001	25,421	12,345	13,076	▲ 145	▲ 180	147	327	35	576	541
涌 谷 町	17,384	8,414	8,970	17,399	8,446	8,953	▲ 15	▲ 118	84	202	103	540	437
美 里 町	24,857	11,937	12,920	25,055	12,016	13,039	▲ 198	▲ 170	133	303	▲ 28	675	703
女 川 町	8,196	4,110	4,086	9,932	4,827	5,105	▲ 1,736	▲ 876	45	921	▲ 860	194	1,054
南三陸町	15,141	7,386	7,755	17,378	8,405	8,973	▲ 2,237	▲ 869	64	933	▲ 1,368	386	1,754
計	2,324,211	1,129,298	1,194,913	2,346,853	1,139,143	1,207,710	▲ 22,642	▲ 14,811	15,087	29,898	▲ 7,831	112,487	120,318